



# 神戸海星病院ニュース

## 神戸海星病院の歴史—「愛と奉仕」の精神とともに—

今年度、神戸海星病院は創立140周年をむかえました。あらためて当院の歴史を振り返ってみたいと思います。

神戸海星病院は、兵庫県下では2番目に歴史の古い、伝統ある病院です。1871年に開設された「万国病院」が今日の「海星病院」の原点で、当初、神戸に在住していた外国人（ドイツ人）が外国人向けの病院として設立したものです。

その後、マリアの宣教者フランシスコ修道会が中心となって「万国病院」を継承するとともに「愛と奉仕」の精神を導入し、1961年には社会福祉法人聖母会「神戸海星病院」として生まれ変わって、今日の神戸海星病院の基礎を築きました。そして、1989年には改組が行われ、現在の医療法人財団「神戸海星病院」へと至っています。

2002年、セコムグループと業務提携後に病院建物の全面改築と、介護付有料老人ホームの新築プロジェクトをスタートさせました。そこで、新生「神戸海星病院」と「コンフォートヒルズ六甲」が同一敷地内に建てられることになり、一体化構想が出来上がりました。設計は世界的に著名な建築家・安藤忠雄氏によるもので、2つの機能を一体として構成されています。もともとの高度医療機関としてのノウハウに、セコムグループのもつ高齢者施設運営ノウハウが融合することによって、新しい医療・介護モデルを構築できるものと自負しております。

これからも創立以来の理念である「愛と奉仕」の精神を受け継ぎ、地域住民に必要な医療サービスを提供してまいりますので神戸海星病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人財団 神戸海星病院  
病院長 立石 博臣

## 《記念祝賀会》

2011年10月15日 ポートピアホテルにて

去る10月15日（土）、病院創立140周年記念祝賀会を開催しました。会場は神戸ポートピアホテルで、参加者は、156名でした。

来賓の方々も多数参加され、会場は祝賀ムードに包まれました。

最初に立石理事長兼病院長からは、140年という長きに亘り病院を支えていただいた全ての方への感謝と、未来に向けて新たな一歩を踏み出す決意の挨拶がありました。

続いて、当院山中名誉理事長をはじめとして病院OBの方々の懐かしいお話や、過去の病院の写真などが披露されました。思い出に浸るひとときとなりました。

来賓の方々・職員との間でも思い出話に花が咲き、ジャズの心地よい調べとともに、心のアルバムの1ページに刻まれたことでしょう。



## ～ 思い出 Memories ～



この写真は1984年ごろに旧病院の休憩室で小さなパーティをした時の写真です。今では考えられないくらいのおんぼりとした時代でした。

当時は外人病棟という病棟があり、診療科も内科・外科・整形外科・眼科と様々で、殆ど全ての科の患者が入院していました。特に船員と外国客船の乗客が多く入院していました。船員は、乗っている船が日本の他の港を回って神戸に帰ってくるまで入院していました。また、大きな手術の後は回復するまで入院をしていたので、長期に入院することも多く、いろんな国の言葉や文化が混在した国際病棟でした。最近は輸送手段も船から飛行機になり、特に震災後は神戸に船が着くことが少なくなったので、外国人の船員が入院することが少なくなりました。

看護部・部長 下出 和代

この写真は、旧病院6階病棟が産婦人科病棟から整形外科病棟になった時のものです。

それ以前の約2年間、6階病棟は産婦人科と整形外科・眼科の混合病棟でした。

高齢者の多い整形外科の患者様と、昨日今日生まれたベビーの組み合わせは不思議な組み合わせと思われるかも知れませんが、廊下で沐浴の順番を待ってコットの中で泣いているベビーを見て、患者様が微笑して、幸福感を感じておられる姿が印象に残っています。

四階病棟・師長 津本 裕美



産婦人科病棟は3チーム編成で、A（助産師）チーム、B（産科）チーム、C（婦人科）チームに分かれていました。写真はB（産科）チームの時に、多いときは約15名の褥婦さんと新生児のケアをしていました。

大変だったのは授乳・沐浴指導で、授乳・おむつ交換の後に嘔吐し、吐物にまみれながらもスヤスヤ眠るのを見て、泣きたいような、笑いたいような気分になったこと・・・。「赤ちゃんってお風呂好きなんですね。泣いていたのに静かになって。」とのお母さんの言葉に、よく見ると赤ちゃんの顔が湯に浸かっていたこともありました（汗）。

また、途中で出産があると分身の術を使いたいと思うこともありました。

毎日がバタバタと多忙でしたが、チームに関係なく助け合い笑いあり涙ありの懐かしい思い出です。

外来看護師 梶田 弥生

旧病院は現在と同じように斜面に3つの建物があり、真ん中部分に総務課がありました。午後5時からそこが救急受付であり防災センターにもなり、一時期はそこで事務員が男女共当直に入ったりしました。

写真は20年前、当時総務課員だった私と津本師長の二人のお嬢さんです。

当時は職員のお子さんがよく総務課へ来てくれて、3・4才の子に「和田ちゃん」と呼ばれ同じレベルで一緒に遊んだりしました（仕事中に・・・スマイル）。

はからずも昨年この写真を展示していた期間に二人が訪ねてきてくださり、同じ位置でのスリーショットになりました。二人は大きく美しく成長し、こちらは横に成長し、before & afterの写真まで今年は展示してくださりあらためて年月の経った事を再認識させられました。



健康管理センター 和田 豊子

### 編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」・・・私も肥えました（汗）  
( ☺ )

140年前といえば、明治維新の頃。まだ西郷隆盛も篤姫も存命でした。改めて病院の歩んできた年月の重みを実感します。  
(マルモリ)

神戸海星病院ニュース 11月号 2011年 11月 1日 発行

医療法人財団 神戸海星病院

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15 <http://www.kobe-kaisei.org/>

TEL 078 (871) 5201(代表) 責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏